

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

ディーゴ ガイド



2025.12.29-2026.1.4

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

24:1 ヨシュアはイスラエルの全部族をシェケムに集め、イスラエルの長老たち、かしらたち、さばき人たち、つかさたちを呼び寄せた。彼らが神の前に立ったとき、
24:2 ヨシュアは民全体に言った。「イスラエルの神、【主】はこう告げられる。『あなたがたの父祖たち、アブラハムの父でありナホルの父であるテラは昔、ユーフラテス川の向こうに住み、ほかの神々に仕えていた。
24:3 わたしはあなたがたの父祖アブラハムを、あの大河の向こうから連れて来てカナン全土を歩かせ、子孫を増し、イサクを与えた。
24:4 そして、わたしはイサクにヤコブとエサウを与え、エサウにはセイルの山地を与えてそれを所有させた。一方、ヤコブと彼の子たちはエジプトに下った。
24:5 わたしはモーセとアロンを遣わし、エジプトに災害を下した。わたしがそのただ中で行ったとおりである。その後、わたしはあなたがたを導き出した。
24:6 わたしはあなたがたの父祖たちをエジプトから導き出した。あなたがたが海まで来たとき、エジプト人は、戦車と騎兵であなたがたの父祖たちを葦の海まで追いつめた。
24:7 彼らは【主】に呼び求め、主はあなたがたとエジプト人の間に暗闇を置き、海に彼らを襲わせ、彼らをおおわせた。あなたがたの目は、わたしがエジプトで行ったことを見た。そして、あなたがたは長い間、荒野に住んだ。
24:8 わたしは、ヨルダンの川向こうに住んでいたアモリ人の地に、あなたがたを導き入れた。彼らはあなたがたと戦ったが、わたしは彼らをあなたがたの手に渡し、あなたがたは

彼らの地を占領した。わたしはあなたがたの前から彼らを一掃した。

24:9 モアブの王、ツィボルの子バラクは立ってイスラエルと戦い、あなたがたを呪うために、人を遣わしてベオルの子バラムを呼び寄せた。

24:10 しかし、わたしはバラムに耳を傾けようとしなかった。彼はかえって、あなたがたを祝福し、こうして、わたしはあなたがたをバラクの手から救い出した。

24:11 あなたがたはヨルダン川を渡り、エリコに来た。エリコの住民やアモリ人、ベリジン人、カナン人、ヒッタイト人、ギルガシ人、ヒビ人、エブス人はあなたがたと戦った。しかし、わたしは彼らをあなたがたの手に渡し、

24:12 あなたがたの前にスズメバチを送ったので、スズメバチがアモリ人の二人の王をあなたがたの前から追い払った。あなたがたの剣にもよらず、あなたがたの弓にもよらなかった。

24:13 わたしは、あなたが労したのではない地と、あなたがたが建てたのではない町々をあなたがたに与えた。あなたがたはそこに住み、自分で植えたのではない、ぶどう畑とオリーブ畑から食べている。』

ヨシュアは最後に神様がいかに慈しみ深く、またそのみわざを力強く行ってくださったかを語りました。私たちが人に伝えるべき最も重要なことは、やはり神様の恵みです。

自分のことよりも主の素晴らしさが伝わるようにしましょう。またヨシュアの言葉に耳を傾ける用意をしましょう。すなわち他の人からの主の証を尊び、それを積極的に聞きましょう。また自分自身についても、これまでの主の恵を思い起こし

て感謝し、信仰を強められましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30日 火曜

ヨシュア



24:14 今、あなたがたは【主】を恐れ、誠実と真実をもって主に仕え、あなたがたの先祖たちが、あの大河の向こうやエジプトで仕えた神々を取り除き、【主】に仕えなさい。
24:15 【主】に仕えることが不満なら、あの大河の向こうにいた、あなたがたの先祖が仕えた神々でも、今あなたがたが住んでいる地のアモリ人の神々でも、あなたがたが仕えようと思うものを、今日選ぶがよい。ただし、私と私の家は【主】に仕える。」
24:16 民は答えた。「私たちが【主】を捨てて、ほかの神々に仕えるなど、絶対にあり得ないことです。
24:17 私たちの神、【主】は、私たちと私たちの先祖たちをエジプトの地、奴隷の家から導き上られた方、そして、私たちの目の前であの数々の大きなしるしを行い、私たちが進んだすべての道で、また私たちが通ったあらゆる民の中で、私たちを守ってくださった方だからです。
24:18 【主】はあらゆる民を、この地に住んでいたアモリ人を私たちの前から追い払われました。私たちもまた、【主】に仕えます。このお方が私たちの神だからです。」
24:19 ヨシュアは民に言った。「あなたがたは【主】に仕えることはできない。主は聖なる神、ねたみの神であり、あなたがたの背きや罪を赦さないからである。
24:20 あなたがたが【主】を捨てて異国の神々に仕えるなら、あなたがたを幸せにした後でも、主は翻って、あなたがたにわざわいを下し、あなたがたを滅ぼし尽くす。」
24:21 民はヨシュアに言った。「いいえ。私

たちは【主】に仕えます。」

24:22 ヨシュアは民に言った。「【主】を選んで主に仕えることの証人はあなたがた自身です。」彼らは「私たちが証人です」と言った。

24:23 「今、あなたがたの中にある異国の神々を取り除き、イスラエルの神、【主】に心を傾けなさい。」

24:24 民はヨシュアに言った。「私たちの神、【主】に仕え、主の御声に聞き従います。」

ヨシュアは「私と私の家は主に仕える。」と、自らの決心を宣言したことにより、民の決心をも引き出しました。人に教えるよりも、自分の生き方が大切です。そこが問われるのです。私たちはどうでしょうか。

またヨシュアは主に仕えることの困難をはっきりと述べて、民の心構えを引き出しました。耳ざわりの良いことばだけを述べて、人を動かすのではなく、このように事実を正直に述べるのが大切です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



31日 水曜

ヨシュア



24:25 ヨシュアはその日、民と契約を結び、シェケムで彼らのために掟と定めを置いた。

24:26 ヨシュアはこれらのことばを神のみおしえの書に記し、大きな石を取り、【主】の聖所にある樫の木の下に立てた。

24:27 ヨシュアは民全体に言った。「見よ、この石は私たちに対して証しとなる。この石は、【主】が私たちに語られたすべてのことばを聞いたからである。あなたがたが自分の神を否むことがないように、これはあなたがたに対して証しとなる。」

24:28 ヨシュアは民をそれぞれ自分の相続地に送り出した。

24:29 これらのことの後、【主】のしもべ、ヌンの子ヨシュアは百十歳で死んだ。

24:30 人々は彼をガアシユ山の北、エフライムの山地にある、彼の相続地の領域にあるティムナテ・セラフに葬った。

24:31 ヨシュアがいた間、また、【主】がイスラエルのために行われたすべてのわざを経験して、ヨシュアより長生きした長老たちがいた間、イスラエルは【主】に仕えた。

24:32 イスラエルの子らがエジプトから携え上ったヨセフの遺骸は、シェケムの地、すなわち、ヤコブが百ヶシタでシェケムの父ハモルの子たちから買い取った野の画に葬った。そこはヨセフ族の相続地となっていた。

24:33 アロンの子エルアザルは死んだ。彼は、自分の子ピネハスに与えられた、エフライムの山地にあるギブアに葬られた。

「ヨシュアがいた間、また、【主】がイスラエルのために行われたすべてのわざを経験して、ヨシュアより長生きした長老たちがいた間、イスラエ

ルは【主】に仕えた。」とあります。

ヨシュアの感化がいかに大きなものであったかが分ります。亡くなった後ですから、ヨシュアが強いて従わせたのではなく、彼の人格のなせるわざです。人に良い感化を与えるような生き方をするにはどうしたらよいでしょうか。そのことを考えてみましょう。子育て、伝道、教会と互いの建て上げのためにも必要なことです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 木曜

ヨハネ I



1:1 初めからあったもの、私たちが聞いたもの、自分の目で見たもの、じっと見つめ、自分の手でさわったもの、すなわち、いのちの**ことば**について。

1:2 このいのちが現れました。御父とともにあり、私たちに現れたこの永遠のいのちを、私たちは見たので証して、あなたがたに伝えます。

1:3 私たちが見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えます。あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父また御子イエス・キリストとの交わりです。

1:4 これらのことを書き送るのは、私たちの喜びが満ちあふれるためです。

1:5 私たちがキリストから聞き、あなたがたに伝える使信は、神は光であり、神には闇が全くないということです。

1:6 もし私たちが、神と交わりがあると言いながら、闇の中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであり、真理を行っていません。

1:7 もし私たちが、神が光の中におられるように、光の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。

1:8 もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理はありません。

1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

1:10 もし罪を犯したことがないと言うなら、私たちは神を偽り者とすることになり、私たちのうちに神の**ことば**はありません。

「私たちが聞いたもの、自分の目で見たもの、じっと見つめ、自分の手でさわったもの」とはイエス様のことです。ヨハネの福音書にロゴスとして表されている、神のみことばを表す「**ことば**」は、まさにイエス様であったのです。

特にここで強調されているのは、「じっと見つめ、自分の手でさわった」とあるように、動かなくなったイエス様であり、すなわち遺体となった血まみれのイエス様です。それこそが「いのちの**ことば**」であり、神の愛のメッセージです。

私たちはこのように十字架に架かって、罪を赦しきよめてくださるイエス様と「交わって」います。ですから、罪を言い表してきよめられて、交わる必要があるのです。

悔い改めができるのは、イエス様の愛のあかしであり、イエス様との愛の交わりがある証しなのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2日 金曜

ヨハネ I



2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。しかし、もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなしてくださる方、義なるイエス・キリストがおられます。

2:2 この方こそ、私たちの罪のための、いや、私たちの罪だけでなく、世全体の罪のための宥めのささげ物です。

2:3 もし私たちが神の命令を守っているなら、それによって、自分が神を知っていることが分かります。

2:4 神を知っていると言いながら、その命令を守っていない人は、偽り者であり、その人のうちに真理はありません。

2:5 しかし、だれでも神のこばを守っているなら、その人のうちには神の愛が確かに全うされているのです。それによって、自分が神のうちにいることが分かります。

2:6 神のうちにとどまっていると言う人は、自分もイエスが歩まれたように歩まなければなりません。

2:7 愛する者たち。私があなたがたに書いているのは、新しい命令ではなく、あなたがたが初めから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いているみことばです。

2:8 私は、それを新しい命令として、もう一度あなたがたに書いているのです。それはイエスにおいて真理であり、あなたがたにおいても真理です。闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。

2:9 光の中にいると言いながら自分の兄弟を

憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。

2:10 自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。

2:11 しかし、自分の兄弟を憎んでいる人は闇の中にいて、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのかが分かりません。闇が目を見えなくしたからです。

キリストと交わっている者は、キリストを愛する者であり、その人は「神の命令」を守ると明言されています。そして神の命令を守る者は「神を知って」おり、その人は兄弟姉妹を愛するということです。

イエス様を愛するということと、兄弟姉妹を愛するということは直接につながっています。いまひとつイエス様の愛がピンとこないとか、イエス様に愛されている実感が無いという人は、兄弟姉妹を愛してみると、それが分るということでしょう。

また逆に誰かを愛してお世話したいという思いは、イエス様を愛することで全うできるということでもあります。そうでないと自分本位の愛になってしまう恐れがあるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 土曜

ヨハネ I



2:12 子どもたち。私があなたがたに書いているのは、イエスの名によって、あなたがたの罪が赦されたからです。

2:13 父たち。私があなたがたに書いているのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。若者たち。私があなたがたに書いているのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

2:14 幼子たち。私があなたがたに書いてきたのは、あなたがたが御父を知るようになったからです。父たち。私があなたがたに書いてきたのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。若者たち。私があなたがたに書いてきたのは、あなたがたが強い者であり、あなたがたのうちに神のことばがとどまり、悪い者に打ち勝ったからです。

2:15 あなたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。

2:16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。

2:17 世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

2:18 幼子たち、今は終わりの時です。反キリストが来るとあなたがたが聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現れています。それによって、今が終わりの時であると分かります。

2:19 彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし仲間であったなら、私たちのもとに、と

どまっていたでしょう。しかし、出て行ったのは、彼らがみな私たちの仲間ではなかったことが明らかにされるためだったのです。

2:20 あなたがたには聖なる方からの注ぎの油があるので、みな真理を知っています。

2:21 私がこのように書いてきたのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、真理を知っているからです。また、偽りはすべて、真理から出ていないからです。

2:22 偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否定する者、それが反キリストです。

2:23 だれでも御子を否定する者は御父を持たず、御子を告白する者は御父も持っているのです。

2:24 あなたがたは、初めから聞いていることを自分のうちにとどまらせなさい。もし初めから聞いていることがとどまっているなら、あなたがたも御子と御父のうちにとどまります。

2:25 これこそ、御子が私たちに約束してくださったもの、永遠のいのちです。

2:26 私はあなたがたを惑わす者たちについて、以上のことを書いてきました。

2:27 しかし、あなたがたのうちには、御子から受けた注ぎの油がとどまっているので、だれかに教えてもらう必要はありません。その注ぎの油が、すべてについてあなたがたに教えてくれます。それは真理であって偽りではありませんから、あなたがたは教えられたとおり、御子のうちにとどまりなさい。

かります。子どもたちとは新生したばかりの人で、父たちとは信仰の深みを体験した人たち、また若い者たちとは信仰を守り通した人たちです。信仰の成長を求めましょう。謙遜になりましょう。

信じているというだけでは、自分自身はいいかもしませんが、次の救いにつながりません。自分だけが救われれば良いというのは、クリスチャンとして實質に欠けているといわざるを得ません。その時点で衰退しているのです。イエス様の愛を感じていないからです。

そのような人は神様よりも世の何かを大切にしている人でしょう。「もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。」というとおりです。しかし、「世と世の欲は滅び去」るのですから、近い将来後悔することになるでしょう。「神のみこころを行なう者」になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

クリスチャンには成長の三段階があることがわ



➤ 4日 日曜

ヨハネ I



2:28 さあ、子どもたち、キリストのうちにとどまりなさい。そうすれば、キリストが現れるとき、私たちは確信を持つことができ、来臨のときに御前で恥じることはありません。
2:29 あなたがたは、神が正しい方であると知っているなら、義を行う者もみな神から生まれたことが分かるはずですよ。

3:1 私たちが神の子どもと呼ばれるために、御父がどんなにすばらしい愛を与えてくださったかを、考えなさい。事実、私たちは神の子どもです。世が私たちを知らないのは、御父を知らないからです。

3:2 愛する者たち、私たちは今すでに神の子どもです。やがてどのようなになるのか、まだ明らかにされていません。しかし、私たちは、キリストが現れたときに、キリストに似た者になることは知っています。キリストをありのままに見るからです。

3:3 キリストにこの望みを置いている者はみな、キリストが清い方であるように、自分を清くします。

3:4 罪を犯している者はみな、律法に違反しています。罪とは律法に違反することです。

3:5 あなたがたが知っているのとおり、キリストは罪を取り除くために現れたのであり、この方のうちに罪はありません。

3:6 キリストにとどまる者はだれも、罪を犯しません。罪を犯す者はだれも、キリストを見たこともなく、知ってもいません。

3:7 幼子たち、だれにも惑わされてはいけません。義を行う者は、キリストが正しい方であるように、正しい人です。

3:8 罪を犯している者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。その悪魔のわざを打ち破るために、神の御子が現れました。

3:9 神から生まれた者はだれも、罪を犯しません。神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪を犯すことができないのです。

3:10 このことによって、神の子どもと悪魔の子どもの区別がはっきりします。義を行わない者はだれであれ、神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそうです。
3:11 互いに愛し合うべきであること、それが、あなたがたが初めから聞いている使信です。

3:12 カインのようになってはいけません。彼は悪い者から出た者で、自分の兄弟を殺しました。なぜ殺したのでしょうか。自分の行いが悪く、兄弟の行いが正しかったからです。

救われた者は、神によって生まれたのであって神の子どもです。救われる前と全く別の存在になったのです。

ですから神様のお心にかなう生き方をすることが、喜びであり、自己矛盾がないのです。悪魔に「惑わされ」ることなく、神の子としての生き方を選び取りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

